

内ヶ谷ダムを視察

市民団体「経過見て検証」

郡上市大和町内ヶ谷の亀尾島川上流で県が建設を進める「内ヶ谷ダム」の工事現場見学会が20日行われ、市民団体のメンバーらが本体工事の現場などを見て回り、工事の進捗状況などを確認した。

長良川市民学習会など28の市民団体でつくる「よみがえれ長良川実行委員会」が企画。実行委の14人が参加し、ダム本体工事の掘

削現場やコンクリートの材料を製造する骨材プラント建設現場を見学した。長良川市民学習会の粕谷豊樹さん

(74)は「内ヶ谷ダムは山奥にあることもあり、一般的な関心は低い。今後も経過を見て検証をしていきたい」と話した。

県によると、内ヶ谷

ダムは下流域の洪水被害を軽減するのが目的。重力式コンクリー

トダムで高さ84・2メートル、総貯水量は1150万立方メートルで最大規模。総事業費は約420億円。2023年度完成を目指す。現在、

本体工事の進捗率は4%。事業全体では57%

(事業費ベース)。
(佐名妙予)



内ヶ谷ダムの工事現場を見学する市民団体のメンバーら＝郡上市大和町内ヶ谷